

二町内自治会新聞

緑のリサイクル②

落ち葉の季節となり、公園清掃日、町内一斉清掃の時落ち葉を集めて、堆肥舎に入れていきます。大きな堆肥舎ですが片方は、八部方まで詰まりました。二回ほど米ぬかを混ぜたので落ち葉が発酵して、熱を持ってきました。昨年は、チリ焼却場で燃やしてしましたから大変な違いですね。

このまま落ち葉を入れていくと二つの堆肥舎は一杯になり、来年は、きつと立派な堆肥ができるものと思います。堆肥は、花壇の肥料に使っていきたいと思っています。

家庭の生ゴミも堆肥に
家庭の生ゴミや落ち葉も堆肥に変えることができます。コンポスト（プラスチック）の容器に生ゴミを入れ、EM菌を適当に

混ぜておくと発酵が進み立派な肥料ができます。家庭菜園やガーデニングに使用すると緑のリサイクルになります。EM菌は、サンコウやナフコ店で取り扱っています。

又 家電製品店では、生ゴミの処理機械が販売されています。購入の場合には、市役所が半分を負担する事になっています。

これまで無用の長物だった落ち葉が堆肥となり、有効利用されることになりました。我々の周りには、眉をひそめるような無用物がいっぱいあります。しかし、工夫の仕様では、意外と役に立つものがあるのではないかと思います。皆で知恵を出し合って無用物の有効利用を考えましょう。

事務局
村上徹郎
TEL 368-5384
住所 健軍本町 26-3

みどりの夢

夏祭りや天気が続く時公園の広場が芝生であつたら良いなと思います。天気の続く日は、砂ホコリガ舞い、どこまで飛んで行くのだろうと思ひます。

夏祭りの観客席にビニールシートを敷きます。総踊りになるとシートを外して、皆で踊ります。暗くて見えないけど相

当な砂埃だと思ひます。芝生にすれば埃は立たないし、夏は、太陽熱を吸収するし、二酸化炭素も吸収するし何も言うことではないと思ひます。又子ども達は、裸足で遊ぶことができます。皆さんはどう思ひますか。ただ、予算がどの位かかるかが問題です。業者に見積もりだけは、させようと思ひています。

減量美化功労者

今年、森下信重さんと株式会社三津野建設の

個人と団体を推薦する事にしました。

森下信重さんは、数年前からご自分のライフワークとして、ゴミステーションの清掃と不法ゴミの分別、自衛隊通りのバス停から歩道に放置されたペットボトルや空き缶等の清掃を実施してこられました。お陰でゴミステーションも自衛隊通りもきれいになりました。

株式会社三津野建設さんは、開業以来品質と環境には、高い基準を設けられ、これを社是としてこられました。数年前には品質と環境両面のISOの資格を取得されました。会社内はもとより、地域にもその精神を広げられ、毎朝六時半頃から本町公園の周りの清掃を続けられておられます。又県庁通りの舗道の清掃にも取り組んでおられます。

よって森下さんと三津野建設さんを地域の減量美化に貢献されたことで熊本市の減量美化功労賞に推薦させて頂きました。心より感謝申し上げます。

避難訓練に思つこと

避難訓練を初めて、二回目になります。

災害時要援護者の避難を近くの方（向う三軒両隣）にお願いしましたところ、快く引き受けて頂き、スムーズに避難訓練ができました。

この町内には、昔ながらの温かい心が残っていると嬉しくなりました。

今後どんな災害が起きても隣近所が助け合いの精神で対処すれば災害を未然に防ぐ事が出来ると思ひました。

地元企業からは、三津野建設と大東建託さんが参加して頂きました。大変心強く思ひました。もつと協力企業の参加を呼び掛けていきたいと思ひています。

ゴミステーション

町内の美化については、公園を初めボランティアの皆様の活動で大変良くなってきました。しかしボランティアがいな

子ども会体験学習

自分達のゴミは、自分達で処理するのは、当然の事ですね。町内のゴミステーションは、全部当番制にしたいと思ひます

から芋の苗植えうといもほりは、二町内と萌の里の交流事業として、誕生しました。六月に植え、十一月に収穫しました。植える頃は、心細い程の苗が十一月には、畑一面を覆い尽くしていました。

十一月七日子ども会が中心で、保護者、自治会役員合わせて五十名が芋ほりを体験しました。子ども達は、頭の大き

さもあるイモに驚いていました。一人五キログラム以上のイモのお土産をもらい、大喜びでした。

御香典返し

十月に亡くなられました故村上千力様の四十九日があけ、長男の村上孝様より自治会に多額の香典返しを頂きました。謹んで故人のご冥福をお祈りし、ご芳志は、有益に使わせて貰ひます。